

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4 年	2	必修
担当教員			
岩下 千恵子			

授業のねらい（概要）	経営学に関する自己の研究課題の設定に始まり、論文指導や面接指導を繰り返しながら、卒業研究としての卒業論文の作成及び課題研究としての研究成果の発表を行うことを目的とする。具体的には、学部教育で獲得した知識や能力を総合的に活用することについて学ぶとともに、各自の研究課題に則した資料の分析、先行研究の分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、研究課題に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表を行う。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 卒業論文の問いを再考し、確定させる。中間発表について説明する。 予習（時間）：卒業論文の構成を再考する。（120分） 復習（時間）：卒業論文の問いを確定させる。（120分）	
	第2回	序論（第1章はじめに）について、口頭発表のやり方について 確定させた問いを踏まえて、序論（第1章はじめに）の書き方について説明する。序論の執筆に取りかかる。口頭発表のやり方を説明する。 予習（時間）：序論に何を書くべきか理解しておく。（120分） 復習（時間）：序論の下書きを完成させる。レジュメ作成の方法を復習する。（120分）	
	第3回	情報（文献）収集と論文（下書き）執筆について① 問いの仮の答えに導くための根拠となる情報や文献を収集するやり方を説明する。 予習（時間）：論文の主張の裏付けの方法を理解しておく。（120分） 復習（時間）：情報収集をする。（120分）	
	第4回	情報（文献）収集と論文（下書き）執筆について② 情報収集をしながら執筆をするやり方を説明する。 予習（時間）：情報収集をする。（120分） 復習（時間）：集めた情報をもとに、下書きを執筆する。（120分）	
	第5回	卒業論文中間発表 レジュメ配布で、卒業論文の中間発表を行う。 予習（時間）：論文執筆時になぜ引用する必要があるか理解しておく。（120分） 復習（時間）：口頭発表のやり方を復習する。（120分）	
	第6回	論文の表現について① 卒業論文の文章作法の中の引用の仕方と論文特有の表現の仕方について説明する。 予習（時間）：論文の文章作法について理解しておく。（120分） 復習（時間）：論文特有の文章作法（引用の仕方など）について復習する。（120分）	
	第7回	論文の表現について② 論文専用の表現、図表の表示の仕方を説明する。 予習（時間）：論文の中に図やグラフを入れる必要があるか考え、何を入れるか決める。（120分） 復習（時間）：図やグラフの作成をする。（120分）	
	第8回	卒業論文下書き準備① ページレイアウト、ページ挿入、タブの使い方について説明する。 予習（時間）：卒業論文マニュアルを熟読する。（120分） 復習（時間）：ページレイアウトについて復習する。（120分）	
	第9回	卒業論文下書き準備② 論文の執筆（表紙、目次の作成）にとりかかる。 予習（時間）：論文のタイトル、章・節の見出しを決める。（120分） 復習（時間）：作成した表紙、目次の確認をする。（120分）	
	第10回	卒業論文下書き準備③ 論文の執筆（本文の下書き）にとりかかる。 予習（時間）：論文の下書きの執筆をする。（120分） 復習（時間）：論文の下書きの執筆をする。（120分）	
	第11回	卒業論文下書き準備④ 論文の執筆（本文の下書き）を継続する。 予習（時間）：論文の下書きの執筆をする。（120分） 復習（時間）：論文の下書きの執筆をする。（120分）	
	第12回	卒業論文下書き完成、提出 下書き（表紙、目次、本文、参考文献リスト）を終了させる。 予習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分） 復習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分）	
	第13回	卒業論文推敲① 指示にもとづいて、下書きをした論文を推敲（修正・加筆）する。 予習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分） 復習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分）	
	第14回	卒業論文推敲② 指示にもとづいて、下書きをした論文を推敲（修正・加筆）する。 予習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分） 復習（時間）：下書き論文の推敲をする。（120分）	
	第15回	卒業論文完成、製本	

	卒業論文を印刷し、簡易製本する。 予習（時間）：卒業論文の最終校正をする。（240分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	D P（商学部）に記載のある下記の姿勢を身に付ける科目となっている。 ・情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 【身に付くスキル】 課題解決力・創造的思考力
到達目標	①収集した情報、資料やデータから結果を考察し、問いに対する結論を出すことができる。 ②専門知識を用いて、論理的な卒業論文を作成することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	中間発表は改善点を記入の上、評価する。
履修上の注意	就職活動等を理由に欠席する場合も含め、欠席する際は必ず事前に連絡すること。
成績評価の方法・基準	①論文中間発表 20% ②卒業論文 80%
教科書	特になし
参考書・教材	配布プリント、卒業論文マニュアル
備考	
教員との連絡方法	メール（授業中に周知）